

平成 30 年度第 1 回（通算第 31 回）POC 技術委員会議事録

【委員会概要】

日時：平成 30 年 4 月 6 日（金）16：40～18：10

場所：ホテル日航奈良（藤）

参加： 〆谷直人、菊池春人、福田篤久、坂本秀生、櫛引健一、小林隆、東野功嗣、小島佳也、岡田健、嶋田昌司、山崎家春、山田修、後藤慎一、竹澤理子、久保田芽里、三好雅士、太田麻衣子、服部聡、木下敬一郎、佐藤寛、加藤（大戸代）、中井剛史、弘田浩之、福田滋弘、水戸部晶、奥村淳、吉尾仁美、薬師寺小百合、樋渡亮二、鈴木卓（大久保代理）、奥田優子、岡尚人

欠席： 桑克彦、奥村道之、小花裕二、工藤僚康、

議事： 岡尚人

敬称略

議題

1. 委員会名簿
2. POC セミナー予定、企画報告
3. POC コーディネータ
4. POC コーディネータ認定制度について
5. POC コーディネータ証明書のカード化について
6. POC ガイドライン第 4 版（発刊遅れ及び編集報告）
7. POC セミナー報告
8. POC セミナーの運営、特に講師招聘に関する件
9. 新任委員推薦
10. 振興協議会「在宅小委員会」で POC ガイドラインのリスト活用
11. その他

報告・協議事項

1. 委員会名簿（添付資料 1）

藤本アドバイザー 退任

嶋田委員 退任

2. POC セミナー予定、企画報告

2018 年度 POC セミナー企画が下記の通り報告され

- 1) 第 66 回 POC セミナー (第 67 回日本医学検査学会) 後藤
テーマ: 「事件は現場で起きている! その血糖測定、大丈夫?」
～血糖測定におけるピットフォールを学ぶ～
開催日: 平成 30 年 5 月 11 日 (金) 14:00～17:00
場所: 静岡県アクトシティ浜松
予算計画: 参加費 3,000 円 静臨技が徴収し、支出はすべて静臨技が行う
定員: 70 名 (80 名まで余裕を持つ)
ポイント: 3 ポイント
共催: 静岡県臨床検査技師会、
その他: 委員長、副委員長共に出席不可のため、他のメンバーにて実施
- 2) 第 67 回 POC セミナー (第 50 回日本臨床検査自動化学会) 櫛引/山田
テーマ: 「POCT の利活用に関わる通信技術とその現状」
開催日: 平成 30 年 10 月 11 日 (木) 14:40～17:40
場所: 神戸国際会議場
定員: 144 名
ポイント: 3 ポイント
共催: 医療情報委員会、シーメンス、富士フイルム、堀場、
ラジオメーターが共催を予定しているが、追加での募集を実施する可能性合有り。
その他: 実習もレクチャーを含み計画中
運営にも、医療情報委員会から人員派遣を実施する
- 3) 第 9 回 POC コーディネータ更新セミナー 坂本
テーマ: 「POC コーディネータの価値とは」
開催日: 平成 30 年 10 月 12 日 (金) 13:30～15:50
場所: 神戸国際会議場
定員: 100 名
ポイント: 2 ポイント
内容: 座学として、松尾前委員長、メ谷委員長に POC 技術委員会に関する講義をいただく
- 4) 第 68 回 POC セミナー (第 65 回日本臨床検査医学会学術集会) 竹澤
テーマ: 「POCT 対応遺伝子検査システムを学ぼう」
～感染症検査を中心に～ (仮題)
日時: 平成 30 年 11 月 18 日 (日) 午前中 2 時間 40 分
場所: 京王プラザホテル (150×2 部屋あり)

定員： 50名
ポイント： 未定
共催： 未定

3. POC コーディネーター : 奥田
POC コーディネーター取得・更新状況の報告
新規 15名
更新 5名

期限切れで更新していない方に、下記活動の基、猶予期間を持つことで合意

1. 更新の意思確認を実施（委員会がリスト作成、事務局が郵送）
2. 更新の意思がある方には1年間猶予にて更新を促進

その他：

Hpのコーディネーター取得案内を更新する事で合意

更新促進に関しては、認定制度試験免除の件にも触れる

4. POC コーディネーター認定制度について 菊池
本委員会として、試験を課した認定制度とする方針で進めることで合意

5. POC コーディネーター証明書のカード化について
認定証を紙より、カード化する方針が合意された
担当委員として、後藤、三好、木下が選出された

6. POC ガイドライン第4版（発刊遅れ及び編集報告） 小林
POC ガイドラインが遅れており、奥田、小林、岡で編集を担当した。
目次に執筆担当名、責任者名を記載する事で決議された、次のガイドライン作成を行う上で、今回の反省点を編集担当（奥田、小林、岡）でまとめる

7. POC セミナー報告

- 1) 第64回 POC セミナー : 山崎
テーマ： 「今求められる POC コーディネーターの力で出来る品質向上」
～ISO や JCI の要求事項を満たすために～
日時： 平成29年11月19日（日）9:00～11:00
場所： 国立京都国際会館
参加者： 23名
投稿： 機器試薬に投稿予定

共催： 第 64 回日本臨床検査医学会学術集会シンポジウム共催

2) 第 65 回 POC セミナー：三好委員

テーマ： 「在宅医療で活用可能と考えられる体外診断用医療機器の
使用方法」

日時： 平成 30 年 3 月 4 日（日） 13:00～15:30

場所： 山形テルサ

参加者： 34 名（事前申し込み 9 名）

展示： メーカー 3 社による展示がなされ、ハンズオンを行った

共催： 第 28 回生物試料分析科学会年次集会、アリーアメディカル、
ロシュダイアグノスティックス、ラジオメーター

8. POC セミナーの運営、特に講師招聘に関する件（謝金・交通費等）

自動化学会理事会報告として、各技術委員会で開催するセミナー講師に関し
ては、非会員限定で自動化学会既定の謝金、交通費（宿泊費は場合による）
を支払う方針が委員長より報告があった

9. 新任委員推薦

以下の 6 名が新任委員として推薦され、委員会として承認された。次回の臨床
検査自動化学会理事会に議案として提出され、承認を受け委員とする。

江原佳史	済生会横浜市東部病院	検査科
中村政敏	鹿児島大学病院	検査部
福岡京子	りんくう総合医療センター	中央検査科
木下陽介	山陰労災病院	中央検査部
乗船政幸	福山医療センター	臨床検査科
繁 正志	大阪医科附属大学病院	中央検査部

新委員推薦に当たり、POC コーディネータ所持は望ましいとされ、人数制
限は特にない事が確認された。尚、人数が増える事を受け、本委員会内に
小委員会を設立し担当者割を実施し役割分担を実施してゆく。

POC 技術委員は、小委員会案をメールにて事務局長に提出する事。

10. 振興協議会「在宅小委員会」、POC ガイドラインのリスト活用（岡）

在宅医療チームのための臨床検査リスト作成に関し、POC ガイドライン 4
版リスト活用に関し承諾を得た

11. その他

- 次回委員会の時間について
次回委員会は日本臨床検査自動化学会 第 50 回大会開催時に開催
場所：神戸国際会議場
日時：平成 30 年 10 月 11 日（木）13：10～14：30
- スキルアップ（山口）に対して、三好委員が初動を開始する、尚、山口県日臨技担当者は小島、岡田委員より、三好委員に連絡する事で合意
- 自動化学会評議員推薦に関し、谷委員長より依頼あり
- 後藤委員が、自動化学会会員リストに POC コーディネータのチェックボックスを作成する
- メーリングリストを自動化サーバーへ移管する方向で進める

第 67 回日本医学検査学会 行列のできるスキルアップセミナー(静岡)
主催:日本臨床検査自動化学会 POC 技術委員会

テーマ	「事件は現場で起きている！その血糖測定、大丈夫？」
サブタイトル	～血糖測定におけるピットフォールを学ぶ～
概要	平成 28 年の「国民健康・栄養調査」では糖尿病有病者とその予備群を合わせる 2,000 万人と報告された。また、入院患者の高齢化が進み、併存症として糖尿病を患う患者も多くみられることから、ベッドサイドでの血糖測定の必要性が増すことが推測される。今回は、講演にて周術期の血糖管理の重要性を学び、実習では安全な血糖測定を実施するためには、どんなピットフォールが潜んでいるか学び、POC コーディネータとして血糖装置利用者へ安全な血糖測定を指導できる人材育成を目的に本セミナーを開催する。
実施概要	
共催	静岡県臨床衛生検査技師会、日本臨床検査自動化学会、企業 6 社予定（以下に記載）
開催日時	平成 30 年 5 月 11 日（金） 14:00～17:00
開催場所	静岡県アクトシティ浜松
取得単位	POC コーディネータ単位：3 時間 3 単位（総論・測定技術論） *「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位」＜第 1 群＞1 単位（予定）
募集人数	70 名
参加料	3,000 円 *学会登録が必要（学会参加費とは別に必要）
セミナー 幹事 敬称略	後藤 慎一 春日井市民病院／JSCLA POC 技術委員会委員 服部 聡 西知多総合病院／JSCLA POC 技術委員会委員 山崎 家春 BML 総合医科学研究所／JSCLA POC 技術委員会委員 岡 尚人 ラジオメーター／JSCLA POC 技術委員会委員事務局長補佐 小林 隆 栄研化学株式会社／JSCLA POC 技術委員会委員
プログラム	
講演	14:00-15:00 基調講演：周術期における血糖管理の重要性について（仮） 春日井市民病院 副院長 佐々木洋光先生 司会：春日井市民病院 後藤慎一 15:00-15:30 教育講演：糖尿病療養指導士からみた POC コーディネータの関わり（仮） 倉敷リバーサイド病院 中川裕美技師 司会：西知多総合病院 服部聡
実習	15:30-17:00 実習司会：株式会社ビー・エム・エル 山崎 家春

	1. 堀場製作所（株）（栄研化学（株）） 2. テルモ（株） 3. ジョンソン&ジョンソン（株） 4. アークレイマーケティング（株） 5. ノバ・バイオメディアカル（株） 6. （株）三和化学研究所 *メーカー名は順不同
実習	各装置において誤った測定を行い、何が問題かを検証し、安全かつ正確な血糖測定方法を学ぶ。
詳細	(候補項目・機器)
	測定項目：血糖 測定装置：POCT 対応血糖測定装置 1ブースあたりの実習時間：15分
経費 備考	1. 講師への謝金・宿泊・交通費は静岡県臨床検査技師会から支出（参加費から支出） 2. 実習に供する装置・試薬は共催企業が準備・負担する

第 67 回 POC セミナー開催概要案 v1

日本臨床検査自動化学会第 50 回大会

テーマ	POCT の利活用に関わる通信技術とその現状
概要	近年発売される POCT 対応機器の多くが通信機能を備えるようになってきた。しかし、POCT 対応機器のデータ収集方法は、その利用目的により様々な方法が模索されている段階といえる。本セミナーでは、POC 技術委員会と医療情報委員会の協力の下に、機器の接続やデータ収集の基礎的事項について学習する。
実施概要	
開催形式	POC 技術委員会、医療情報委員会との共催企画
開催日時	平成 30 年 10 月 日 () : ~ :
開催場所	神戸国際会議場
取得単位	3 時間 3 単位 (総論・測定技術論)
募集人数	70 名
参加料	学会登録が必要 (学会参加費に含まれる)
セミナー 幹事 敬称略	榎引 健一 和泉市立病院/JSCLA POC 技術委員会幹事 久保田 芽里 大阪医科大学附属病院/JSCLA POC 技術委員会事務局 三好 雅士 徳島大学病院/JSCLA POC 技術委員会委員 岡 尚人 ラジオメーター株式会社/JSCLA POC 技術委員会事務局補佐 ? /JSCLA 医療情報委員会 山田 修 岡崎市民病院/JSCLA 医療情報委員会
プログラム	
企画 1 : 講演	講演 : 「 」 講師 : 片岡 浩己先生 (川崎医療福祉大学) (内諾済み) 事例報告「メーカーが今取り組もうとしていること」 1 : 「マルチデバイス対応システム」 候補 : アークレイ、シーメンス (未交渉) 2 : 「RFID」 候補 : 株式会社テクノメディカ (内諾済み) 3 : 「 」 候補 未定 医療機関にお願いしたい 座長 : 先生 (POC 技術委員会) 萩原 三千男先生 東京医科歯科大学 (医療情報委員会) 未交渉

企画 2：実習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 機器操作の実際（測定装置と DMS） 4 社 <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 2. DMS とミドルウェアの違い（ミニ講座） <ul style="list-style-type: none"> ・ DMS 企業（未定） ・ ミドルウェア企業（候補：堀場製作所） 3. データの取扱い <ul style="list-style-type: none"> ・ 有線 LAN と無線 LAN（体験実習：詳細未定） 担当：未定 ・ 扱うべきデータ項目（取扱い規約作成チームによるミニ講座：詳細未定） 担当：弘田（富士フイルム）、三沢（ラジオメーター）、 * 展示に用いる資材等については展示企業負担
その他	
経費	学会員以外の演者が居る場合は、学会負担

第 68 回 POC セミナー

(第 65 回日本臨床検査医学会学術集会) 併シンポジウム

テーマ	「POCT 対応遺伝子検査システムを学ぼう」 ～感染症検査を中心に～ (仮題)
概要	近年、核酸抽出から増幅反応、検出までをすべて自動で行うシステムが開発され遺伝子検査の利用が身近になってきた。この遺伝子検査の中でも POCT(Point of Care Testing) としての機器・試薬は注目されている。主に感染症検査に利用されており、Hand-on-Time が短く全自動で測定結果が得られ、Turn Around Time が短いことが特徴といわれている。今回のセミナーでは、感染症検査の現状と POCT 対応遺伝子検査を学ぶ企画を用意する。
実施概要	
開催形式	第 65 回日本臨床検査医学会学術集会 共催企画
開催日時	平成 30 年 11 月 15 日 (木) ～18 日 (日) のいずれかで 3 時間
開催場所	京王プラザホテル
取得単位	3 単位 (総論・運用技術論)
募集人数	70 名 (予定)
幹事 敬称略	東野 アークレイ/JSCLA POC 技術委員会委員 薬師寺 ロシュ/JSCLA POC 技術委員会委員 小林隆 栄研化学/JSCLA POC 技術委員会委員 奥田 優子 東邦大学医療センター大森病院/JSCLA POC 技術委員会事務局 竹澤 理子 三井記念病院/JSCLA POC 技術委員会委員 太田麻衣子 亀田総合病院/JSCLA POC 技術委員会委員
講師及び 内容 (案)	未定
共催企業	未定
参加費 経費 備考	未定